

# すわみつえ通信

No.178 2021年6月21日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

## 福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

### 6月議会定例会閉会する



本会議場 すわみつえ市議-6月18日(最終日)

6月1日(火)より6月18日(金)まで18日間の日程で開催した6月議会が閉会しました。日本共産党市議団は上程された8件の議案の5件に賛成し、3件に反対をしました。

#### 1. 市内の小規模保育園に関わる保育士配置を基準緩和する条例改定議案(2021年7月1日施行)は待機児童の解消のため?

鴻巣市は今年度の保育所入所申し込みで、62名が保留で、内、3名が待機児童となっています。

「保育園落ちた」のツイッターで待機児童が大きくクローズアップされ、前安倍政権は待機児童の受け皿を40万人分増やす「待機児童解消加速化プラン」を示しました。「面積基準の緩和、園庭はなくていい、緊急時の避難設備もない」と、様々な設備面での規制緩和がその解決策でした。

その結果、3歳までの小規模保育施設の急増です。現在、鴻巣市では公立保育所8園、民間保育園8園の他に12園の小規模保育園があります。条例改定は、この小規模保育園の保育士配置の緩和です。子育て支援員研修修了者・幼稚園教諭や小学校教諭などの資格があれば保育ができるというものです。

保育の公定価格の見直しを行い、正規の保育士を基本に運用ができるようにすることが、何よりも保育の安心・安全につながるものと指摘し、反対討論を行いました。

#### 2. 「東京オリンピック・パラリンピック開催の中止」を求める意見書は否決となる

日本共産党市議団と菅野博子議員・加藤久子議員の4名で議員提案した意見書は、鴻巣会・こつこのす自民・公明党・かいえん隊などの反対で否決となりました。

多くの専門家が開催による感染リスクの拡大を警告しているにもかかわらず、感染リスクの評価も行わず、なぜ開催するのか、菅首相はその理由も答えられないまま五輪開催を強行しようとしています。国内外での各種世論調査では、今夏の開催については中止、再延期を求める声が8割を超えており、アスリート自身やスポーツ関係者からも「開催は難し

い」とする意見が数多く表明されています。意見書は否決となりましたが、「五輪より命を」の声をさらに大きくしたいと思います。

自治会と要望してきた北鴻巣駅前通り「赤見橋の修繕が進みました



赤見橋 修繕箇所の写真=6月19日

#### 早速、都議選の支援へ

議会が終了した翌日は、都議選支援にかけつけました。大宮駅から「むさしの号」に乗りプチ旅気分。日野市で立憲民主党・社民党の応援をもらい、市民共同で立候補予定の「清水とし子」さんの支援。「東京五輪・パラリンピック中止を」と訴えました。



俳句コーナー

杉木立ドクダミ草の白さかな

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口



# 菅政権「骨太の方針」閣議決定

## コロナ危機に無反省 社会保障費さらに抑制へ

菅義偉政権が発足して初めてとなる「経済財政運営と改革の基本方針2021」（骨太の方針）が6月18日に閣議決定されました。新型コロナウイルスで弊害が噴き出した社会保障改悪路線を反省するどころか、社会保障の削減を続ける方針を示し、医療の強化や生活支援に背向けた姿勢は国民の願いからかけ離れています。

## 社会保障費の削減さらに

「骨太の方針」は次年度の政府予算案に反映されます。政府と財界代表らで構成する経済財政諮問会議が作成します。財界の要求が最優先される仕組みです。社会保障費の伸びを毎年削減してきた路線を22、24年度も継続すると宣言。全世代型社会保障の名で通常国会で成立させた75歳以上の医療費窓口負担2倍化に

## いまでも低年金

年金では、いまでも低すぎる支給水準を少子高齢化に合わせて自動的に引き下げる「マクロ経済スライド」の下限措置の撤廃が検討されています。現在は年金支給額が名目（受取額）でマイナスになるときはマクロ経済スライドは発動しませんが、下限措置が撤廃されると名目でマイナスになる場合も含め発動するようになります。

「感染症対応の医療提供体制を強化」といいますが、コロナ危機で顕在化した医療の弱体化に反省はありません。病床削減を図る「地

域医療構想」や、都道府県の医療費削減を促す「医療費適正化計画」を推進します。菅政権は先の通常国会で「高齢者医療費2倍化法」と「病床削減推進法」を成立させました。これに拍車をかける方針です。保健所の増設、人員増には触れずじまいです。

## 政府・財界が狙う社会保障改悪メニュー

### 【医療】

- ・地域医療構想などによる病院再編・統合、病床削減
- ・75歳以上の窓口2割負担の対象拡大
- ・生活保護受給者の国保や後期高齢者医療制度への加入

### 【介護】

- ・現在原則1割の利用者負担を原則2割に
- ・老健施設などの多床室の室料の全額自己負担化
- ・ケアプランへの利用者負担導入
- ・介護予防・日常生活支援総合事業の事業費の抑制

## 立民の小沢一郎衆院議員、菅首相に苦言「五輪の開催が第一」「もういい加減にしたほうがいい」



立憲民主党の小沢一郎衆院議員が6月17日、公式ツイッターに新規投稿。菅義偉首相が同日夜の会見で、沖縄を除く9都道府県の緊急事態宣言を期限の20日で解除後、まん延防止等重点措置に切り替える東京、大阪など7都道府県で感染再拡大や医療のひっ迫の兆しが見られた場合は飲食店での酒類提供を一律停止する可能性を示したことを受け、「もういい加減にしたほうがいい」と苦言を呈した。さらに小沢氏は18日にも新規投稿した。

小沢一郎（事務所）さんがリツイート



小沢一郎（事務所）  
@ozawa\_jimusho

6月17日

もういい加減にしたほうがいい。飲食店関係者が昨年来、どんな思いで自粛要請に協力してきたか、何店舗廃業したかわかっているか。彼らの筆舌に尽くしがたい苦しみを考えたことがあるか。悪いのは飲食店でも酒でもなく、この間、何もせず、ずるずるを続けてきた菅総理である。

小沢一郎（事務所）さんがリツイート



小沢一郎（事務所）  
@ozawa\_jimusho

6月18日

五輪の開催が第一。国民の命や生活は二の次、三の次。ついに明らかになった自民党の公約。ポスターにある「国民のために働く」ではなく、実際には「権力維持と利権のために働く」。感染リスクを減らして命を救い一日も早く平常を取り戻すという気持ちががない。つまり、国民を見ていない。刮目すべき時。

## 奈良の博物館前に「鹿だまり」

奈良公園に隣接する奈良国立博物館前の芝生に6月に入ってから「鹿だまり」が確認されはじめた。暑くなるとシカの群れが排気口の一つの周辺に集まって休むため、夏の風物詩となっている。

「鹿だんご」とも呼ばれる。曇り空だった6月12日は昼過ぎから1頭、2頭と集まり始め、夕方には春日大社の方から数十頭の群れが列を



なして合流した。ぴったりと身を寄せ合い、目を閉じてリラックスした様子だった。

なぜ鹿だまりができるかは明らかではない。一説には博物館前のマンホール型の排気口から出てくる空気や周辺の地表の温度が低く、涼を求めて集まるのではないかとされている。（共同通信社 6月17日付）